

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全・防災 <input type="radio"/> 維持管理 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質 (該当分類に○を付記)																				
技術名称	ゲート自動運転支援システム	担当部署	営業本部 本社営業部																		
NETIS登録番号	QS-160028-A	担当者	谷川 宏治																		
社名等	西田鉄工株式会社	電話番号	0964-23-1111																		
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>従来の水門・樋門ゲート設備では、操作員が水位計および量水標等の水位を観測し、操作水位と判断した場合に人為的にゲート操作行っていたが、津波襲来時の操作に際しては操作員の安全確保に懸念があった。</p> <p>そこで、津波襲来時に現地へ操作に出向くことが困難な場合でも、安全にゲート操作を自動で行える支援システム開発が必要と考えた。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>津波来襲時に河川等の水位変動に対し、水門等の迅速且つ、適切なゲート開閉操作を支援するシステムで、ゲート近傍の水位を常時測定し、複数の水位情報が設定水位に達した場合にゲートの自動開閉運転(カメラ画像の動画記録も同時起動)を行い、操作遅れ等による内水氾濫による被害を防げる。</p> <p>3. 技術の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波襲来時の急激な水位変動や、夜間操作等に起きうる操作遅れ等による内水氾濫被害を回避できる。 ・津波襲来時の操作における操作員が不要となり安全性が向上する。 ・本システムに装備される監視カメラ、デジタルレコーダにて自動運転時の動画記録が自動的に保存される。 ・津波対策以外の予測が困難な局所集中豪雨対策にも対応可能である。 <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>河川用水門扉工および樋門・樋管扉工におけるゲート設備(電動、引き上げ式)に適用は可能である。</p> <p>5. 活用実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">国の機関</td> <td style="width: 15%;">1 件</td> <td style="width: 15%;">(九州</td> <td style="width: 15%;">0件</td> <td style="width: 15%;">、九州以外</td> <td style="width: 15%;">1件)</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>0 件</td> <td>(九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件)</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>0 件</td> <td>(九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件)</td> </tr> </table>			国の機関	1 件	(九州	0件	、九州以外	1件)	自治体	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件)	民間	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件)
国の機関	1 件	(九州	0件	、九州以外	1件)																
自治体	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件)																
民間	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件)																

6. 写真・図・表

